

一般国道7号 ひろさき 弘前バイパス
一般国道7号 いしかわ 石川バイパス

【開通5年後の整備効果資料】

平成28年 5月17日
国土交通省 東北地方整備局
青森河川国道事務所

1. 事業の目的と概要

事業完了後5年経過

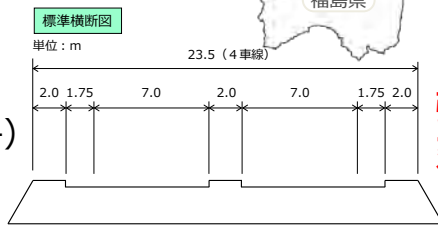
- 事業目的
 ・弘前市街地及び藤崎町内の国道7号の交通混雑の解消、交通安全の確保など

弘前バイパス計画概要

起終点 : 自) 青森県弘前市大字堀越字川合
 至) 青森県南津軽郡藤崎町大字藤崎

延長 : 10.2 km 幅員 : 23.5 m
 道路規格 : 第3種1級 設計速度 : 80 km/h

都市計画決定 : 昭和45年度
 事業化 : 昭和44年度
 用地着手 : 昭和45年度
 工事着手 : 昭和46年度
 暫定2車線開通 : 昭和52年度
 4車線整備着手 : 昭和56年度
 4車線開通年度 : 平成23年度(H23.4)

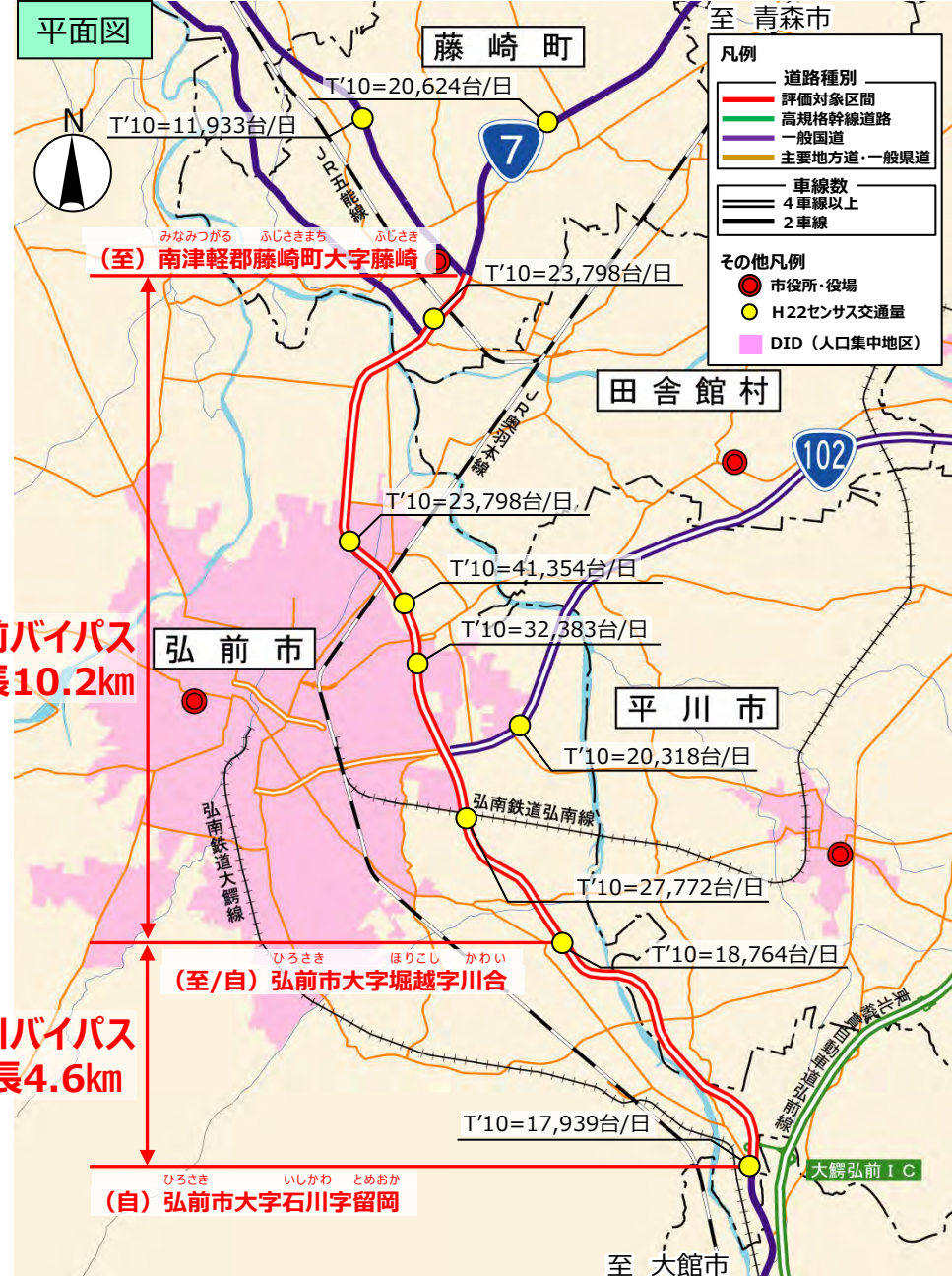
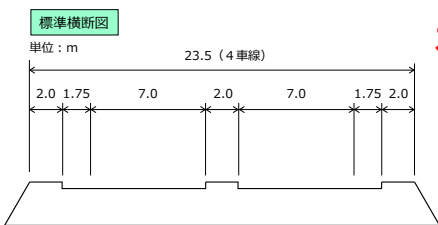


石川バイパス計画概要

起終点 : 自) 青森県弘前市大字石川字留岡
 至) 青森県弘前市大字堀越字川合

延長 : 4.6 km 幅員 : 23.5 m
 道路規格 : 第3種1級 設計速度 : 80 km/h

都市計画決定 : 昭和48年度
 事業化 : 昭和48年度
 用地着手 : 昭和50年度
 工事着手 : 昭和53年度
 暫定2車線開通 : 昭和55年度
 4線車整備着手 : 平成19年度
 4線車開通年度 : 平成23年度(H24.3)



弘前バイパス
延長10.2km

石川バイパス
延長4.6km

2. 事業効果の発現状況（1） 企業立地による地域の活性化

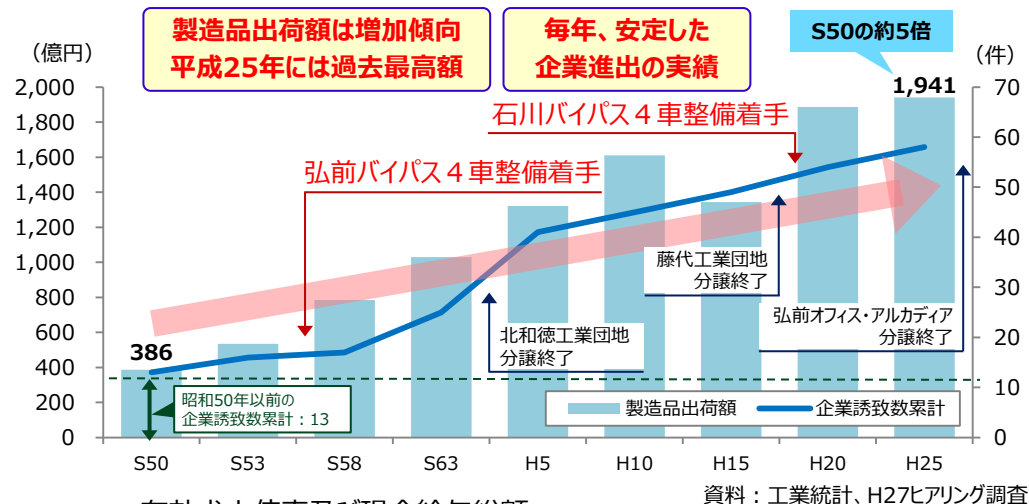
【事例①】

- ◆弘前・石川バイパス沿線には工業団地が造成され、企業立地も進み製造品出荷額も増加し平成25年は過去最高
- ◆弘前市の有効求人倍率も過去5年間で最高となる等、弘前・石川バイパス4車線開通は地域の雇用拡大に貢献し産業活性化に寄与

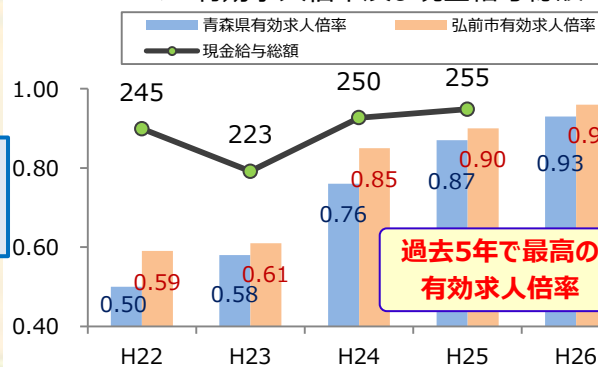
▼ 工業団地位置及び主要企業の主な材料搬入・製品出荷状況



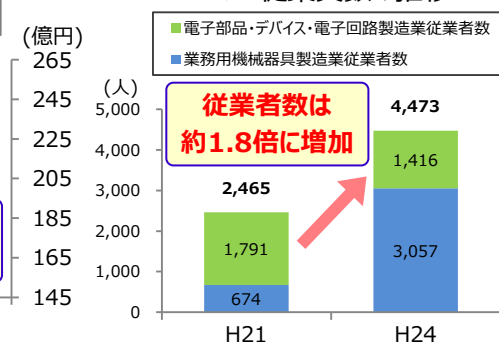
▼ 弘前市の製造品出荷額等及び企業立地の推移



▼ 有効求人倍率及び現金給与総額



▼ 従業員数の推移



弘前市産業育成課

- 弘前市内の主な工業団地は、**すべて分譲率100%**です。
- 弘前市への企業の進出要因は、**弘前・石川バイパスも含めた充実した交通基盤**も1つの要因となっていると考えます。（H27.12調査）



2. 事業効果の発現状況（2） 地域の特産品の物流効率化を支援

- ◆弘前市の『リンゴ』生産量は日本一であり、近年の出荷量は増加傾向
- ◆『リンゴ』の9割は、トラック輸送にて弘前・石川バイパスを経由し関東・関西等へ消費地ニーズに応じて出荷され、市場価格も高まる傾向
- ◆弘前・石川バイパス4車線開通により、効率的な輸送が可能となり地域の基幹産業である『リンゴ』産業の活性化を支援

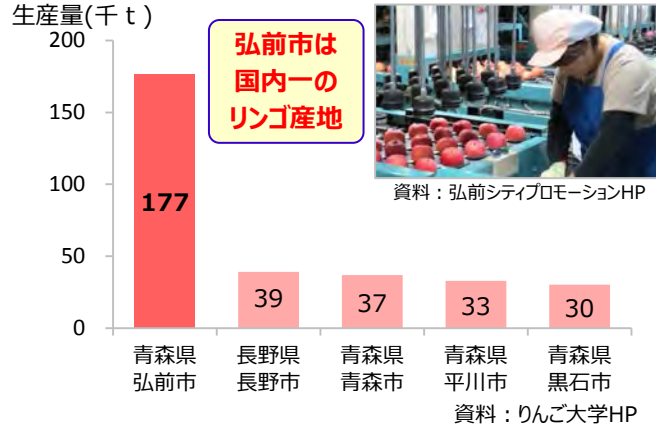
J A つがる弘前



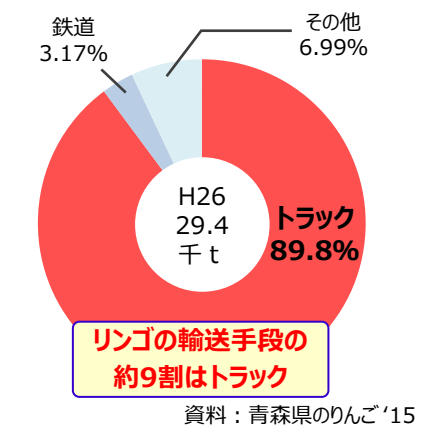
○りんごは、最盛期に10 t 車で20～30台／日が出荷され、関東方面へは、**国道7号から大鰐弘前IC、関西方面へは、国道7号を南下し日本海ルートで関西へ輸送**しています。
 ○所要時間は、**大鰐弘前ICまでの所要時間は5分～10分程度短縮し、特に冬期は走りやすくなっています。**（H28.2調査）



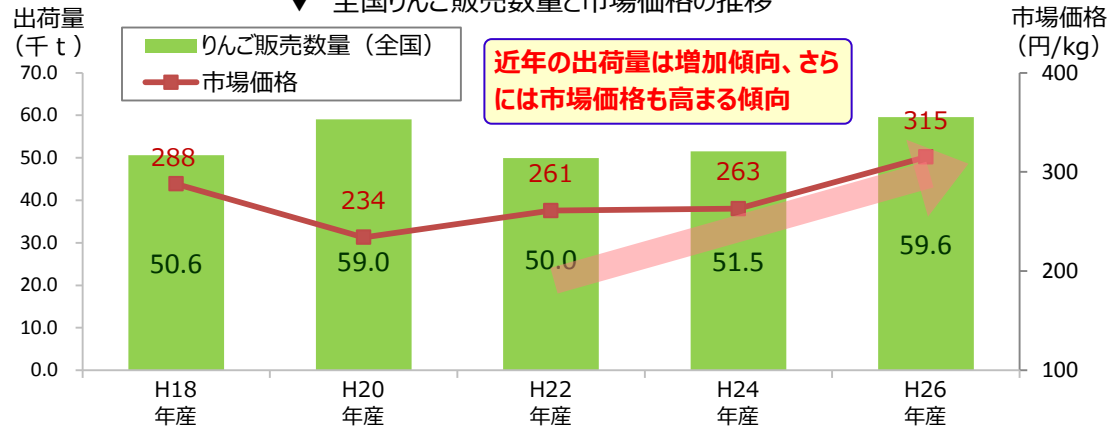
▼ 全国市町村別リンゴの生産量TOP10(H18)



▼ リンゴ輸送機関別出荷実績



▼ 全国りんご販売数量と市場価格の推移



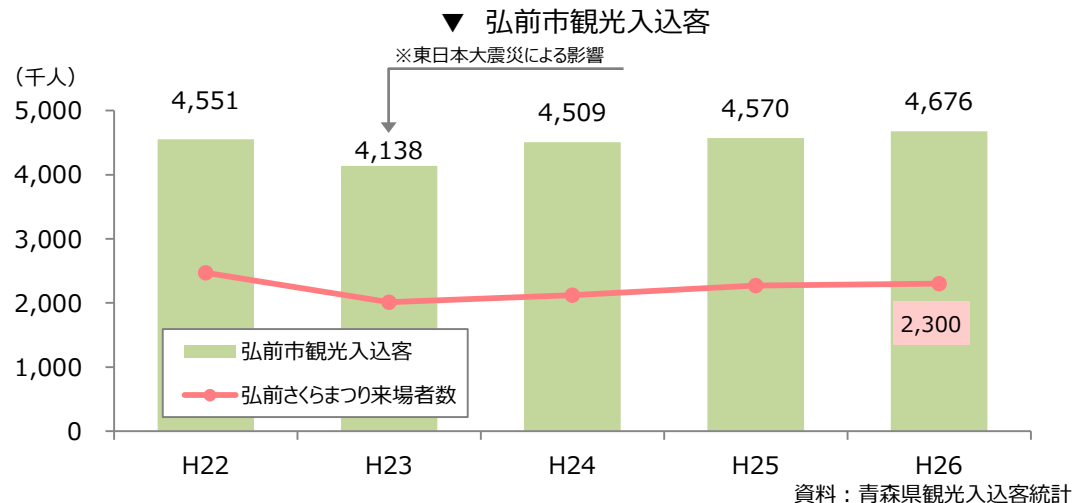
青森県りんご商業協同組合連合会



○近年の市場価格伸びの一因には、**弘前バイパス、高速道路等の整備により臨機応変に顧客ニーズ（価格）の高い消費地にトラックでりんごを輸送できるようになった**ことも挙げられます。（H28.2調査）

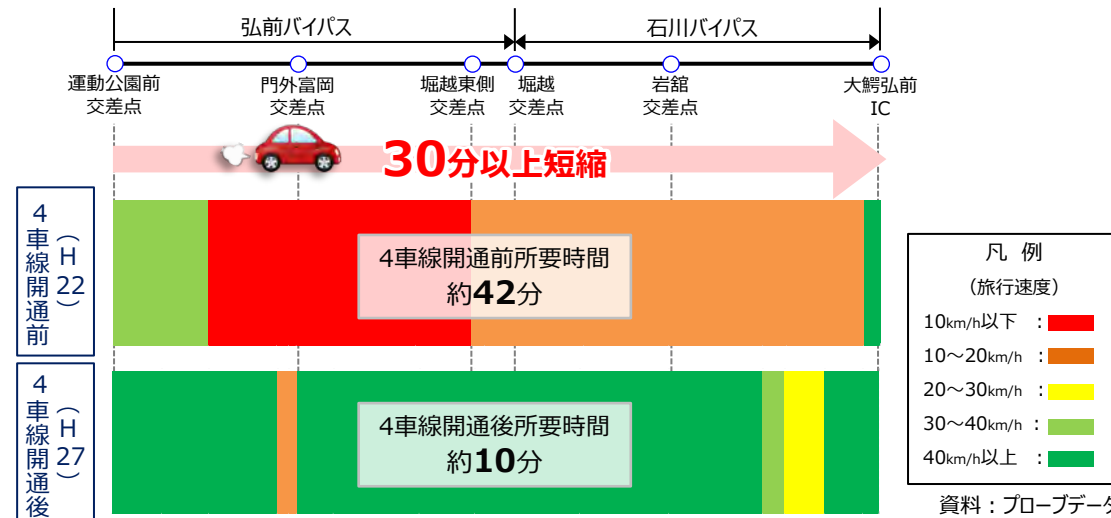
2. 事業効果の発現状況 (3) 観光の活性化

- ◆弘前市は、来場者数230万人の『弘前さくらまつり』等多様な観光資源を有し、観光入込客は東日本大震災前の水準に回復
- ◆弘前・石川バイパス4車線開通後は、弘前さくらまつり期間の渋滞が大幅に緩和する等、観光来訪者の円滑な移動支援の面から地域の観光活性化に寄与



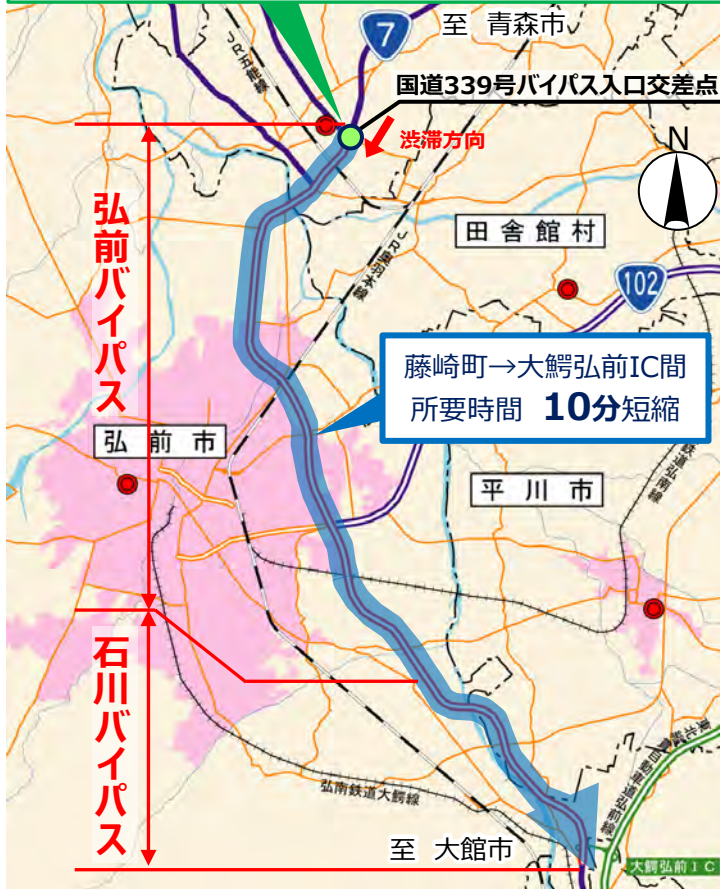
■ 弘前さくらまつり開催期間中の混雑変化 (市中心部→大鰐弘前IC)

▼ 弘前さくらまつり期間中(4/29~5/5)の混雑状況 (休日15~18時)

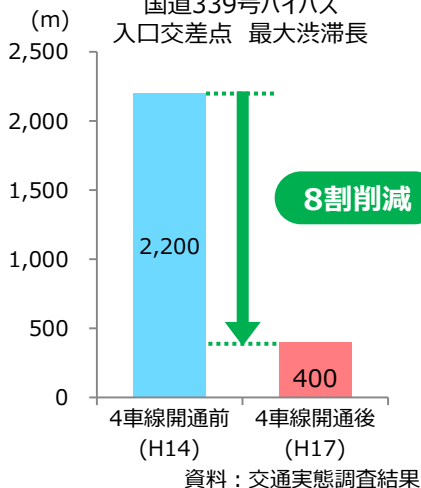


2. 事業効果の発現状況（4） 道路交通環境の改善

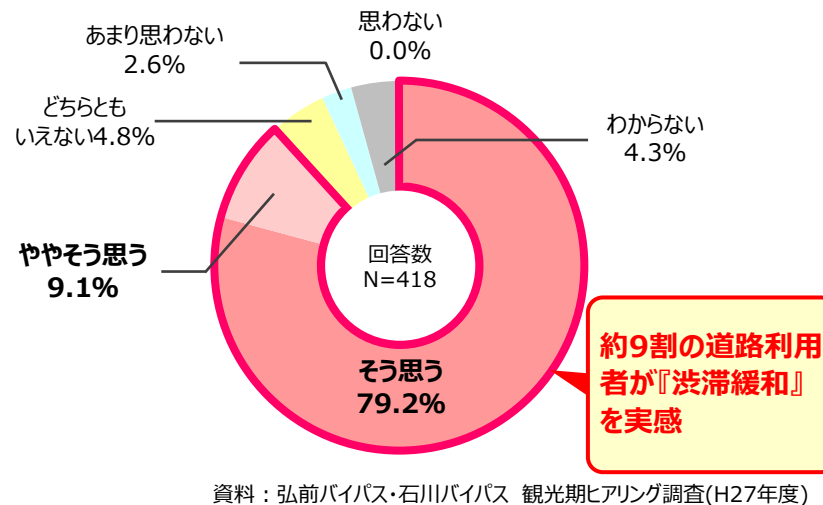
- ◆弘前・石川バイパス4車線開通に伴い、渋滞は大きく減少し、道路利用者の9割が渋滞緩和を実感
- ◆また、渋滞緩和に伴い、弘前・石川バイパスを経由した大鰐弘前ICへのアクセス性も向上（所要時間が短縮）



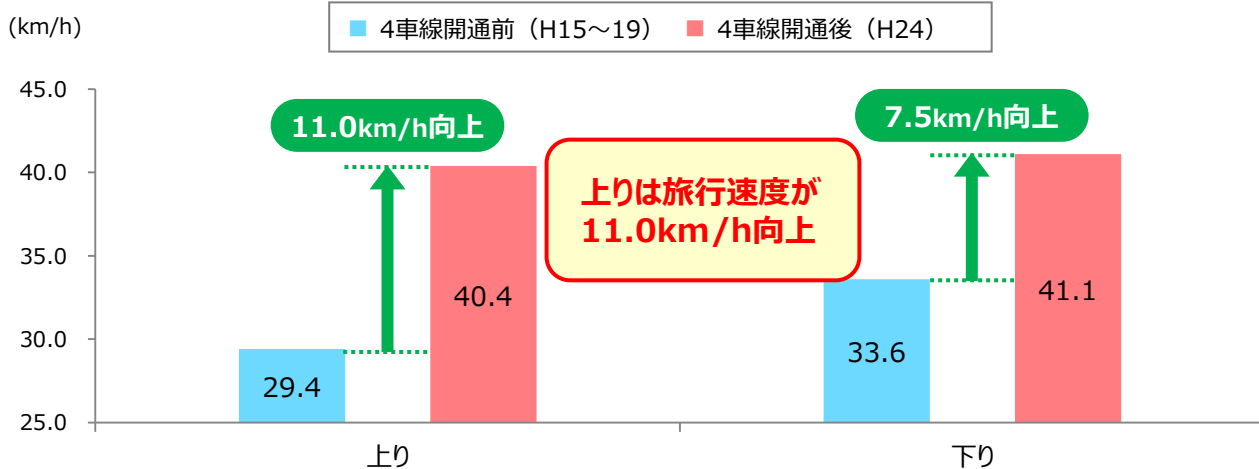
▼ 最大渋滞長の変化
国道339号バイパス
入口交差点 最大渋滞長



▼ 4車線開通前と比べて渋滞が緩和したと感じる人の割合



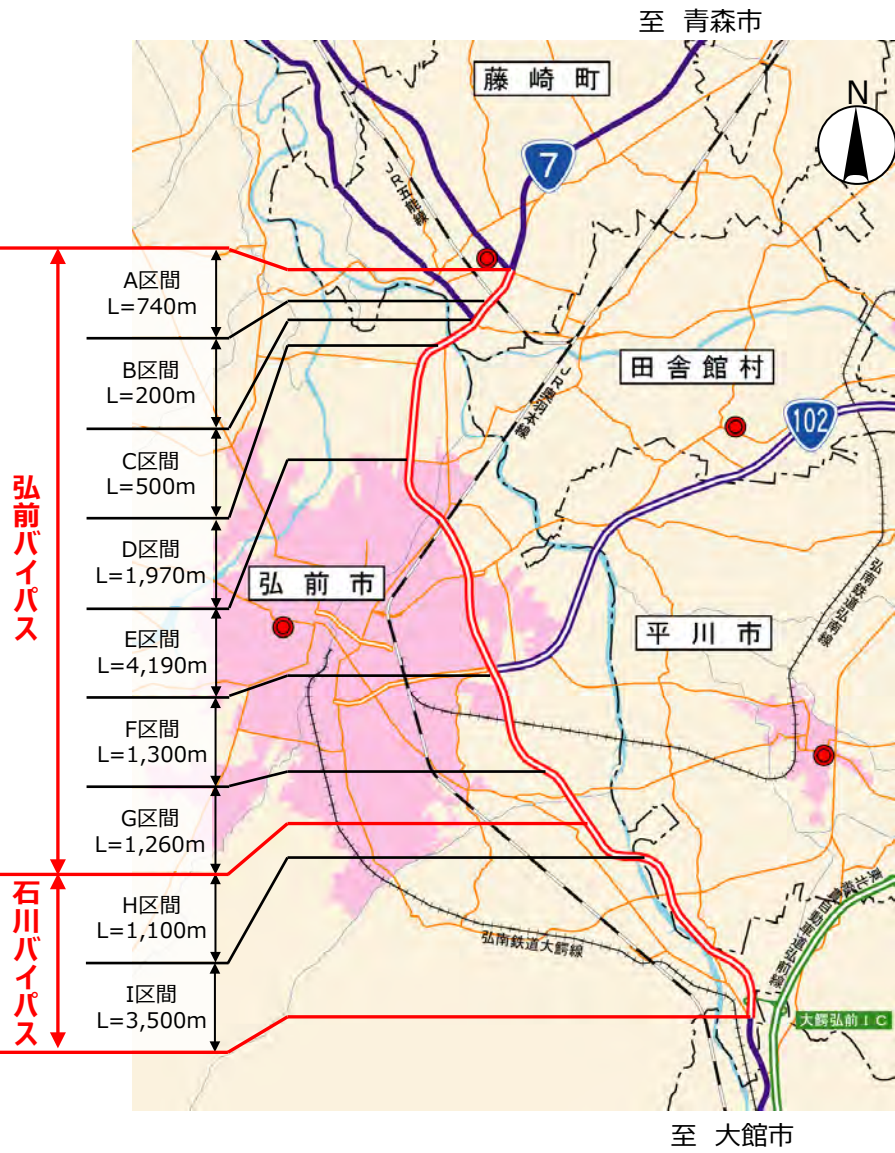
▼ 藤崎町～大鰐弘前IC間走行速度（平日ピーク時）



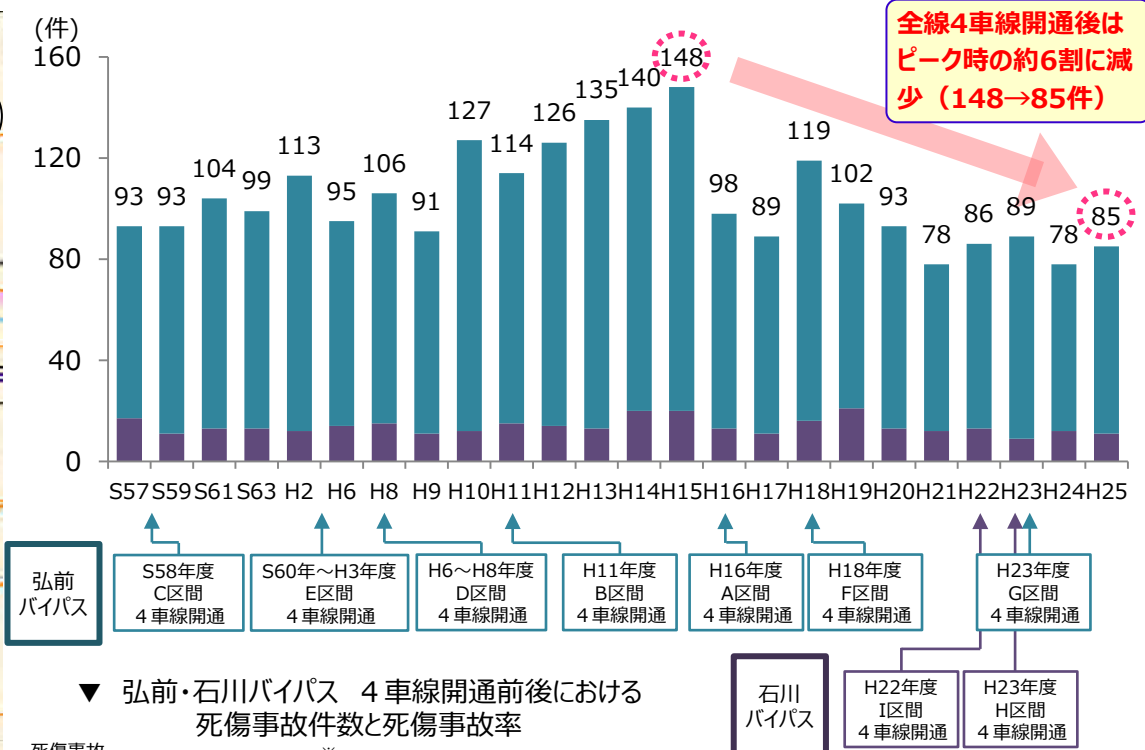
【資料】4車線開通前：旅行速度調査 (H15～H19)
4車線開通後：プローブデータ (H24.7)

2. 事業効果の発現状況（5） 交通事故の減少

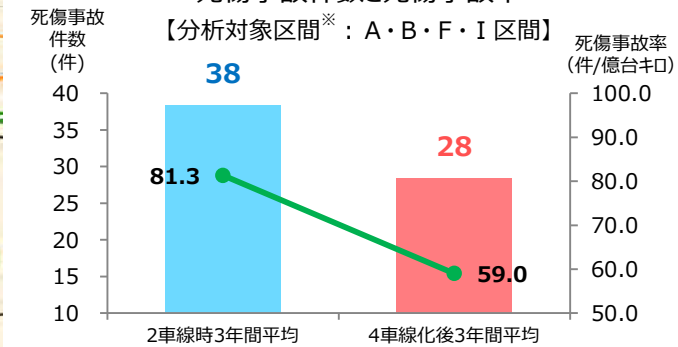
◆死傷事故件数は、弘前・石川バイパス4車線開通に伴いピーク時の約6割までに減少し、弘前・石川バイパス4車線開通は交通安全の確保に寄与



▼ 弘前・石川バイパス 交通死傷事故発生件数の推移



▼ 弘前・石川バイパス 4車線開通前後における死傷事故件数と死傷事故率



資料：イタルデータ (H8～H25)、
道路交通センサス (H2、H6)、
交通管理調査報告書 (S57～S63)

